

# 2006 旭硝子財団 助成研究発表会

7月3日午後、スクワール麹町において、本年3月に研究期間が終了した助成研究の成果が発表されました。今回の発表会は第1分野(化学・材料・生命科学系)の助成研究を対象として行われ、発表者をはじめ関係分野の研究者や当財団の選考委員、他財団からのご来賓など、多くの関係者にご来場頂きました。

冒頭、瀬谷理事長の挨拶に引き続き、遠藤剛選考委員長(近畿大学分子工学研究所長)から趣旨説明があり、前半のポスター発表、口頭発表、後半のポスター発表の順に発表が行われました。

昨年までの研究発表では、主に口頭発表やシンポジウム形式を採用しましたが、本年は多くの研究成果を一堂に集めてディスカッションを行う趣旨により、ポスター発表を試行的に導入しました。ポスター発表で

は、最初に講演会場で発表者が順に3分間スピーチを行い、終了後、ポスター会場に全員が移動して、それぞれのポスターの前で幅広いディスカッションが行われました。

第1分野の研究領域は多岐にまたがるため、専門分野の異なる研究者同士が活発な意見交換を行う機会となり、非常に有意義な発表の場となりました。

また、発表終了後には同じ会場で懇親会が開かれ、発表者以外の関係者も含めた交歓が行われました。

今回の発表会にご出席くださった方々、ご協力くださった関係者の方々に改めて感謝申し上げます。なお、来年度からは、第1分野だけでなく、全分野について、今回のような発表形式のもとに助成研究発表会を行う予定です。



瀬谷理事長



遠藤選考委員長



東京農工大学 朝倉哲郎教授による口頭発表



ポスター発表会場